

ネオ・ファンタジア (1976)

ALLEGRO NON TROPPO

メディア 映画 アニメ
ジャンル ファンタジー
製作国 イタリア
色彩 Color
時間 85分
初公開日 1980/01/02
公開情報 アート・フォーラム
リバイバル 2005/01/02 [プチグラパブリッシング]

【解説】

イタリア・アニメーション界の巨匠ブルーノ・ボゼット監督がクラシックの帝王カラヤンと手を組み、手掛けた伝説のシンフォニック・アニメーション。クラシックの名曲に合わせてアニメーションが縦横無尽に展開する6つのアニメ・パートとそれをつなぐモノクロの実写パートによる二重構成。実写の撮影にはフェリーニも参加。演奏は名門ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団。

舞台上には老婆ばかりのオーケストラ。凶暴でエキセントリックな指揮者に脅えながら一人のアニメーターが作画を始める。やがて絵は演奏に合わせて動き出す…。劇中では、「牧神の午後前奏曲」（ドビュッシー）、「スラヴ舞曲第7番」（ドヴォルザーク）、「ボレロ」（ラヴェル）、「悲しみのワルツ」（シベリウス）、「ヴァイオリン協奏曲ハ長調」（ヴィヴァルディ）、「火の鳥」（ストラヴィンスキー）というクラシックの名曲6曲が使用され、それらの曲に乗せてブラックなユーモアを交えたイマジネーション溢れるアニメが展開していく。

【クレジット】

| | | |
|------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 監督 | ブルーノ・ボゼット | Bruno Bozzetto |
| 製作 | ブルーノ・ボゼット | Bruno Bozzetto |
| 脚本 | ブルーノ・ボゼット ギード・マヌリ マウリツィオ・ニケッティ | Bruno Bozzetto |
| 撮影 | マリオ・マシーニ | Maurizio Nichetti Mario Masini |
| 撮影協力 | フェデリコ・フェリーニ | Federico Fellini |
| 演奏 | ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 | Berliner Philharmoniker |
| 指揮 | ヘルベルト・フォン・カラヤン | Herbert von Karajan |
| 出演 | マウリツィオ・ニケッティ ネストール・ガレイ | Maurizio Nichetti Nestor Garay |